



自らの意思で！ “ボランティアの一中”

「今年はボランティア活動に力を入れましょう！」スタートは、始業式での私からのお願いでした。コロナ禍で人と接することが制限されてきましたが、「今年はいろいろな活動ができそうぞ。」ということで提案したのです。そうしたら、その後 生徒会スローガン「向日輪～ Volunteer・Pride・Greeting ～」が出されました。生徒会も同じことを考えていたのです。心強いスタートになりました。

私が最初に呼びかけたのは、「あいさつ運動をやりたい人でやってみない？」その声に応えて、4～6月のあいさつ運動に『自らの意思で』集まってくれたのは、何と79人！現在も毎朝、生活委員と一緒に元気な声であいさつ運動を展開してくれています。



次は、「さくらんぼマラソン大会ボランティア」です。久しぶり



に本格的に開催されるこのビッグイベントに集まってくれた人は、驚きの110人！当日は全国から参加したランナーたちにドリンクを配るなどの仕事をして、とても喜ばれました。さくらんぼマラソンは、こういう「温かなおもてなし」が好評を得ている大会なのだそうで、その一角を担うことができ東根の好感度アップに大きく貢献しました。



6月には「花植えボランティア」を募集しました。これまた素晴らしい、112人が校舎周辺で苗をポットや花壇に植えました。予想以上の参加人数で、花の苗より人の方が多かったくらいです。十分に活動できなかった人ゴメンナサイ。おかげできれいに花を咲かせ、全校生が毎日、心に潤いをもって生活できています。



こういった活動に参加してくれたみなさん、活動した後でどんなことを感じましたか？何を学びましたか？私は、参加してくれた一中生をとて頼もしく感じます。全ての活動に対して『自らの意思で』参加しているからです。「ボランティア活動」の中には「ボランティアという名の強制」という場合もあります。「当番」だったり「義理」だったり、そういった理由で活動することもよくあるようです。しかし、『自らの意思で』行うのと「当番で」行うのでは、後に残るものが全く違うのです。一中生はとて大切なことを学んでいると言えるでしょう。間違いなくこういった経験が日本を変える、世の中を変える原動力になると私は思っています。